

令和5年度 北海道大学教育学部 第3年次編入学及び転部試験

試験問題（総合問題）

9時00分～10時30分

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題は、（英語）と（論文）の2つがある。両方の問題のすべての問いに解答すること。
- 3 問題紙は、この頁を含めて7枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚ある。
- 5 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 6 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 7 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 8 問題紙及び下書き用紙は、すべて持ち帰ること。

以上

問題1 以下の文章を読んですべての問いに答えなさい。

引用文献 [1-12]の記載は省略

出典：Dehaene, S., Roumi, F. A. Lakretz, Y., Planton, S., Sablé-Meyer, M. (2022). Symbols and mental programs: a hypothesis about human singularity. *Trends in Cognitive Sciences*, 26, 751-766.

問1 下線部(a)の'human cognitive singularity'によって著者が意味しているのは以下のうちのいずれか。正しいものを1つ選びなさい。

- 1) 動物のような具象物だけでなく幾何学的な形を描くこと
- 2) 言語に加えて絵や地図を描く能力があること
- 3) ヒト以外の霊長類のような単純な絵を描かないこと
- 4) 標準的な意味と数学的な意味を使い分けることができること

問2 下線部(b)の内容を具体的に述べている箇所の英語を抜き出さなさい。

問3 下線部(c)の3つの用語は Glossary で説明されている。以下の1~4がそれら用語のどれにもっともよく当てはまるかを、1~4それぞれに対して番号(①Icon, ②Index, ③Symbol)で答えなさい。

1. 道路の白線
2. 楽譜の音符
3. バーコード
4. 灯台の光

問4 下線部(d)のヒトの知覚におけるもっとも単純な側面について、本文で例が挙げられている部分を和訳しなさい。

問題2 以下の文章は森岡正博(1998)「総合研究の理念 —その構想と実践」の一部である(出題の都合上、一部、削除した箇所がある)。森岡はこの論の中で「学際的共同研究」を「異なる専門分野を背景を持った複数の研究者がひとつのテーブルに集まってきて、あるテーマについて共同の研究を行うもの」と説明している。この点を踏まえて以下の文章を読んで、すべての問に日本語で答えなさい。



【出典】

森岡正博 (1998) 総合研究の理念：その構想と実践，現代文明研究 1，p1-18 (p6-9) .

問1 筆者が言う「ひとり学際」とはどのようなものか。本文中の言葉を用いて70字以内で述べなさい。

問2 筆者はなぜ「ひとり学際」が重要だと考えているのか。文中で述べられている理由として最も適当なものを以下の①～④から1つ選びなさい。

- ①問題の全体像，構造を的確に把握するため。
- ②異なる意見を広く取り入れて研究を進めるため。
- ③問題意識に基づき，専門的に研究を深く探究するため。
- ④学際的な研究を行うためには優れたリーダーが必要であるため。

問3 筆者は本文中で「ひとり学際」の考え方について、「いじめ」という事象を例として具体的に説明している。そこでいじめ以外の教育の現代的問題をひとつ取り上げ，その問題を探究する時，どのような視点から探究するかについて，筆者の考えを参考にして250字以内で述べなさい。